

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-137496

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月25日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

A 4 7 L 13/20  
13/256

A 4 7 L 13/20  
13/256

B

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平9-306738

(22) 出願日 平成9年(1997)11月10日

(71) 出願人 000006769

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(72) 発明者 田能村 真里

東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内

(72) 発明者 寺島 智子

東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内

(72) 発明者 五木田 智夫

東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内

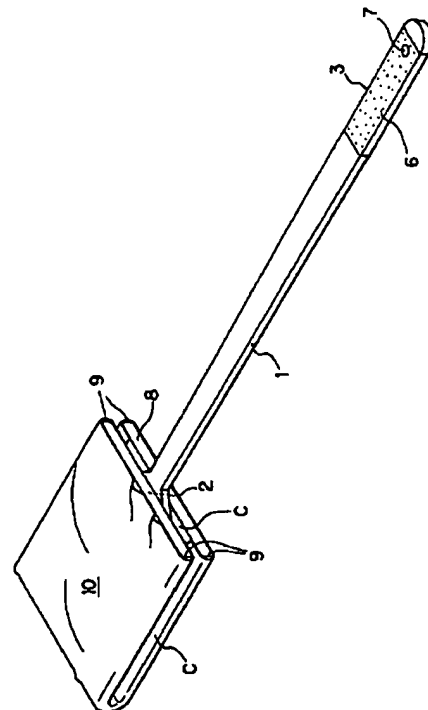
(74) 代理人 弁理士 藤本 博光 (外1名)

(54) 【発明の名称】 清掃用具

(57) 【要約】

【課題】 使用時の簡便性を図ることができ、清掃部分が特定の面に限定されない清掃用具を提供する。

【解決手段】 屈曲可能な先細りの柄1と、柄1の先端部の取付部2に止着糸を介し二つ折りにされて取り付けられた柔軟な挟持スポンジ8と、挟持スポンジ8を表裏面を被覆する払拭布10とを備える。そして、挟持スポンジ8の左右両側部をそれぞれ隙間C付きの挟持部9とし、各挟持部9に払拭布10の両側部をそれぞれ巻き掛けて挟持させる。挟持部9に払拭布10の両側部をそれぞれ挟持させるだけで払拭布10をセットでき、払拭布10を袋状に形成したり、あるいは清掃面の反対側に払拭布10用のストッパ部を設ける必要がない。したがって、専用の払拭布10以外の払拭布をも使用でき、しかも、払拭布10の表裏面、先端部、及び左右両側部を全て使用でき、使用時の簡便性を向上させることができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 可撓性を有する柄と、この柄の先端部に固定された挟持体と、この挟持体を着脱自在に被覆する着塵用の払拭シートとを含み、

前記挟持体に僅かな隙間を備えた挟持部を形成し、この挟持部に前記払拭シートの一部を挟持させることを特徴とする清掃用具。

【請求項2】 前記挟持体の内部に前記隙間に連なる溝穴を形成し、前記払拭シートの端部に筒部を設けてこの筒部にはピン部材を挿入し、このピン部材を備えた該払拭シートの端部を前記溝穴に嵌め入れる請求項1記載の清掃用具。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、家具、壁、机の上、電気製品、又は照明器具などの清掃に使用される清掃用具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の清掃用具としては、図示しないが、はたきタイプ、モップタイプ、又は実開平2-119152号公報に開示されたタイプが知られている。はたきタイプは、柄の先端部に短冊状を呈した複数の布を束ねて取り付け、この複数の布をはたいて家具、壁、電気製品、又は照明器具などに付着した埃などを除去する。また、モップタイプは、小型のプレート形のモップに拭布を装着した構造に構成され、家具、壁、電気製品、又は照明器具などに付着した埃をふき取って除去する。さらに、実開平2-119152号公報のタイプは、保持板と弾性体の間の隙間に拭布を挟んで拭布の面積を縮小し、拭布を確実に、かつ容易に固定するようにしている。

【0003】なお、この種の清掃用具に関する先行技術文献として、特開平9-38012号、実開平5-5061号、実開昭62-30765号、実開平2-119151号、又は特開平9-47417号公報などがあげられる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来の清掃用具は、以上のように構成されているので、それぞれ以下に示す問題があった。まず、はたきタイプとモップタイプは、埃を除去する機能には優れているものの、簡便性については殆ど考慮されておらず、簡便化を図ることができないという問題があった。具体的にいうと、これらのタイプは、装着部に拭布を装着するため、拭布を袋状に形成したり、あるいは清掃面の反対側に特定構造の拭布用のストッパ部を設けている。したがって、特定の拭布以外の拭布を使用することができず、又はストッパ部の存在に伴い清掃面の一面しか使用することができず、結果として使用時の簡便性を到底期待することができなかった。

【0005】また、実開平2-119152号公報のタ

イプは、拭布を確実に、かつ容易に固定することができるものの、保持板を備える必要があるため、弾性体のみにしか拭布をセットすることができず、この結果、拭布の巻装された一面に清掃部分が限定されてしまうという問題があった。

【0006】本発明は、前記従来の問題に鑑みなされたもので、使用時の簡便性を図ることができ、しかも、清掃部分が特定の面に限定されることのない清掃用具を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明においては、前記課題を達成するため、可撓性を有する柄と、この柄の先端部に固定された挟持体と、この挟持体を着脱自在に被覆する着塵用の払拭シートとを含み、前記挟持体に僅かな隙間を備えた挟持部を形成し、この挟持部に前記払拭シートの一部を挟持させることを特徴としている。なお、前記挟持体の内部に前記隙間に連なる溝穴を形成し、前記払拭シートの端部に筒部を設けてこの筒部にはピン部材を挿入し、このピン部材を備えた該払拭シートの端部を前記溝穴に嵌め入れることができる。

【0008】ここで、特許請求の範囲における「柄」は、弾性を有していたり、屈曲又は湾曲していても良い。また、「挟持体」の製造に際しては、弾性を有する好適な材質が使用される。また、「溝穴」は、挟持体の内部に単数又は複数設けられる。また、「払拭シートの端部」には、払拭シートの一端部（又は一側端）と両端部（又は両側端）のいずれもが含まれる。また、「筒部」は、その両端部が開いたものでも良いし、一端部が閉そくされた袋状のものでも良い。また、「ピン部材」は、筒部に固定されるものでも良いし、着脱自在に挿入されるものでも良い。さらに、このピン部材は、専用のものでも良いし、既存の軸部材を流用することも可能である。

【0009】請求項1記載の発明によれば、挟持体の挟持部に払拭シートの一部を隙間を介し挟み持たせるだけで払拭シートをセットすることができるから、払拭シートを袋状に形成したり、又は払拭シート用のストッパ部を設ける必要がない。したがって、特定の払拭シートだけではなく、それ以外の払拭シートも広く使用することができるとともに、払拭シートの表裏面、先端部、及び又は左右両側部などを使用することができ、使用時の簡便性を向上させることが可能となる。また、挟持体の表裏面の少なくとも大部分に払拭シートをセットできるので、清掃面積が拡大する。さらに、柄が弾性を有するので、上記効果が相乗的に向上し、作業性や清掃性などの改善が期待できる。

【0010】また、請求項2記載の発明によれば、払拭シートの端部分を溝穴にピン部材を介してセットするので、払拭シートを操作しやすく、挟持部に対する取り付

け、取り外しが容易になる。また、払拭シートの使用済みの面を裏返して未使用面を表にし、挟持部に再度取り付ける場合にも、払拭シートの使用済み面に付着した塵芥埃を脱落させることなく、払拭シートの一端部を取り外すことなく、払拭シートを容易に反転させることができる。

#### 【0011】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。本実施形態における清掃用具は、図1ないし図3に示すように、柄1と、この柄1の先端部に取り付けられた柔軟な挟持スポンジ8と、この挟持スポンジ8を被覆する払拭布10とを備えている。

【0012】柄1は、基本的には各種の合成樹脂（例えば、ポリエチレンやポリプロピレンなど）を用いて屈曲可能な先細りの棒形（例えば、40cm）に成形され、その先端部に取付部2が、末端部には操作用のグリップ3がそれぞれ成形されている。柄1の取付部2は、ほぼ方形の枠形に成形され、その内部周縁には複数のワイヤ4が縦横に並べて架設されており、この相互に絡んだ複数のワイヤ4がネット5を形成している。また、柄1のグリップ3は、その表面に複数の凹凸からなる滑り止め6が成形され、最末端部側には丸いフック孔7が貫通して成形されており、このフック孔7に図示しない紐、フック、又はワイヤなどが適宜通される。

【0013】挟持スポンジ8は、薄い扁平で方形の板形に形成され、その中央部で二つ折りの二重構造にされて柄1の取付部2の先端部側（図3の上方向）から末端部側（図3の下方向）に向け挟持状態で嵌入されており、ネット5に複数の止着糸（図示せず）を介して装着されている。このような構成の挟持スポンジ8は、その左右両側部がそれぞれ僅かな隙間Cを備えた挟持部9として機能する。

【0014】さらに、払拭布10は、例えば、3デニール×51mm：30%、1.5デニール×51mm：70%の複数種の配合組成を有する繊維布からなり、20×30cmの薄い方形に形成されている。このような構成の払拭布10は、その中央部で二つ折りにされて挟持スポンジ8の表裏面を被覆するとともに、挟持スポンジ8の左右両側部の挟持部9に両側部がそれぞれ巻き掛けられて挟まれ、図示しない塵芥や埃を吸着するよう作用する。

【0015】前記構成において、図示しない家具、壁、電気製品、又は照明器具などに付着した埃を除去するには、挟持スポンジ8の表裏面を二つ折りにした払拭布10で被覆するとともに、挟持スポンジ8の挟持部9に払拭布10の両側部をそれぞれ挟持させ、その後、柄1のグリップ3を握って所定の作業をすれば、家具、壁、電気製品、又は照明器具に付着した埃などをふき取って除去することができる。

【0016】前記構成によれば、挟持スポンジ8の挟持

部9に払拭布10の両側部をそれぞれ挟持させるだけで払拭布10を確実にセットすることができるので、払拭布10を袋状に形成したり、あるいは清掃面の反対側に特定構造の払拭布10用のストッパ部を設ける必要性が全くない。したがって、専用の払拭布10以外の払拭布を容易に使用することができ、しかも、払拭布10の表裏面、先端部、及び左右両側部を全て使用することができ、使用時の簡便性を著しく向上させることが可能となる。

【0017】また、挟持スポンジ8の表裏面の全てに払拭布10を装着できるので、清掃面積が大幅に拡大し、この結果、清掃作業中に払拭布10を何度も交換する必要性が全くなく、清掃作業の円滑化、迅速化、又は容易化が期待できる。また、払拭布10の取り外しもきわめて容易となる。また、柄1がフレキシブルなので、被清掃対象に応じて柄1がしなり、被清掃対象を損傷させることがなく、しかも、操作が容易である。さらに、挟持部9に隙間Cが形成されているので、挟持部9に払拭布10の両側部をきわめて容易に挟持させることができ、取り扱いが実に容易化する。

【0018】次に、図4は本発明の第2の実施形態を示すもので、この場合には、柄1の取付部2の表裏面に四隅部がそれぞれ面取りされた挟持スポンジ8Aを複数の止着糸を介して装着し、表面の挟持スポンジ8Aを左右に分割して中央部分に前後方向に指向する隙間C付きの挟持部9を形成している。このような構成の挟持スポンジ8Aは、その表面の挟持部9、及び前後左右両側部がそれぞれ払拭布10用の隙間C付きの挟持部9として機能する。その他の部分については、前記実施形態と同様であるので説明を省略する。本実施形態においても前記実施形態と同様の作用効果が期待でき、しかも、挟持部9が増加しているので、払拭布10をより確実に、かつ体裁を整えてセットすることができるのは明らかである。

【0019】次に、図5は本発明の第3の実施形態を示すもので、この場合には、柄1Aの取付部2を棒形に形成し、この取付部2に円筒形を呈した挟持スポンジ8Bの中空部を嵌入接着し、挟持スポンジ8Bの周面のほぼ中央部分に前後方向に指向する隙間C付きの挟持部9を形成している。このような構成の挟持スポンジ8Bは、その周面の挟持部9、及び前後部がそれぞれ払拭布10用の隙間C付きの挟持部9として機能する。その他の部分については、前記実施形態と同様であるので説明を省略する。本実施形態においても前記実施形態と同様の作用効果が期待でき、しかも、角のない円筒形の挟持スポンジ8Bを使用するので、面取りされたコーナ部の清掃が非常に容易となり、加えて清掃対象の損傷を招くこともない。

【0020】次に、図6は本発明の第4の実施形態を示すもので、この場合には、柄1Aの取付部2を棒形に形

5

成し、この取付部2に円筒形を呈した挟持スポンジ8Cの周面中央部を交差状態に挿入接着し、挟持スポンジ8Cの周面のほぼ中央部分に左右両側部方向に指向する隙間C付きの挟持部9を形成している。このような構成の挟持スポンジ8Cは、その周面の挟持部9、及び左右両側部がそれぞれ払拭布10用の隙間C付きの挟持部9として機能する。その他の部分については、前記実施形態と同様であるので説明を省略する。本実施形態においても、前記実施形態と同様の作用効果が期待でき、しかも、角のない円筒形の挟持スポンジ8Cを使用するので、面取りされたコーナ部の清掃が非常に容易となり、さらに清掃対象の損傷を招くことがない。

【0021】次に、図7は本発明の第5の実施形態を示すもので、この場合には、挟持スポンジ8Dの一侧部の内部に挟持部9の隙間Cに連通する円形の溝穴11を形成し、払拭シート10の一侧端部を円筒形に巻いて筒部12を形成し、この筒部12にはピン13を着脱自在に挿入するとともに、このピン13を備えた払拭シート10の一侧端部が挟持部9付近でピン13を有していない払拭シート10の一侧端部に上に乗るよう挟持スポンジ8Dの周囲に払拭シート10を巻装被覆した後、ピン13を備えた払拭シート10の一侧端部を溝穴11に嵌入してセットするようにしている。

【0022】その他の部分については、前記実施形態と同様であるので説明を省略する。本実施形態においても、前記実施形態と同様の作用効果が期待でき、しかも、硬いピン13を備えた払拭シート10の一侧端部を溝穴11に装着するので、操作しやすく、取り付けと取り外しがきわめて容易となる。さらに、払拭シート10を反転させて未使用面を表にし、再度装着して使用するのがきわめて容易となり、かつ周囲を散らかさずに作業することができるのは明らかである。

【0023】なお、前記実施形態では、合成樹脂を用いて棒形の柄1、1Aを使用したものを示したが、ほぼS字形、ほぼく字形、又はほぼZ字形などの形状の柄1、1Aを適宜使用しても良い。また、挟持スポンジ8、8A、8B、8C、8Dを単数複数使用しても良いし、あるいは角筒形、小判形、半小判形、三角形、台形、又は楕円形などの挟持スポンジ8、8A、8B、8C、8Dを使用することもできる。また、各種の他の弾性素材（例えば、発泡樹脂など）を用いて挟持スポンジ8、8A、8B、8C、8Dとしても良い。また、二つ折にされた挟持スポンジ8の左右両側部をそれぞれ断面V字形などに形成し、指を引っ掛けやすくしても良い。

【0024】また、柄1、1Aの先端部に挟持スポンジ8、8A、8B、8C、8Dを取付具を介して間接的に取り付けたり、又は直接接着することも可能である。また、払拭布10用の挟持部9は、少なくとも1つあれば

6

良く、数を適宜増減変更することができる。また、手軽に使用できるティッシュペーパーなどを払拭シートとして適宜利用することもできる。また、払拭布10の少なくとも一侧端を圧縮成形などで硬質に成形してこの一侧端を挟持部9に挟持させるようにしても良く、こうすれば操作性や取り扱い性が大幅に向上する。さらに、溝穴11やピン13の形を適宜変更することができるのはいうまでもない。

【0025】

10 【発明の効果】以上のように請求項1記載の発明によれば、使用時の簡便性を図ることができ、しかも、清掃部分が特定の面に限定されることのない清掃用具を提供することができるという効果がある。さらに、請求項2記載の発明によれば、払拭シートの取り付け取り外しが容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る清掃用具の実施形態を示す斜視説明図である。

20 【図2】本発明に係る清掃用具の実施形態における拭布のセット前の状態を示す斜視説明図である。

【図3】本発明に係る清掃用具の実施形態における柄を示す平面図である。

【図4】本発明に係る清掃用具の第2の実施形態を示す斜視説明図である。

【図5】本発明に係る清掃用具の第3の実施形態を示す斜視説明図である。

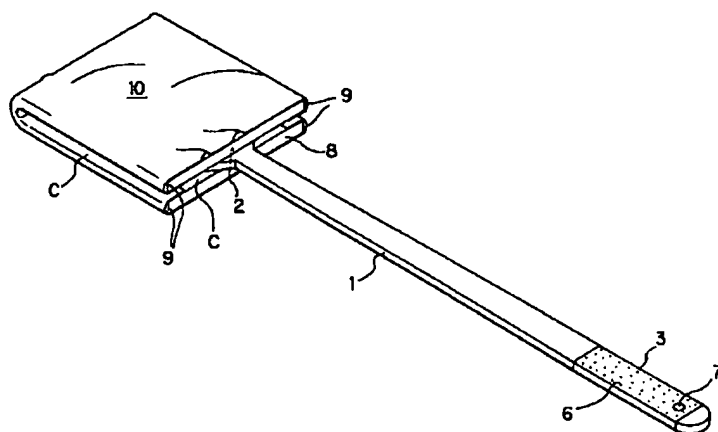
【図6】本発明に係る清掃用具の第4の実施形態を示す斜視説明図である。

30 【図7】本発明に係る清掃用具の第5の実施形態を示す斜視説明図である。

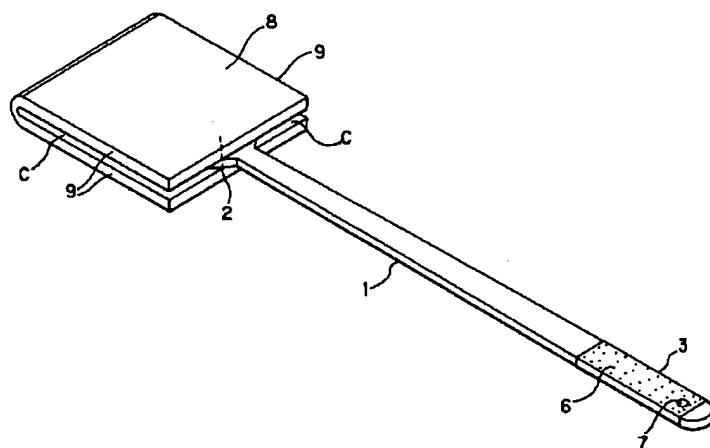
【符号の説明】

1	柄
1A	柄
2	取付部
3	グリップ
5	ネット
8	挟持スポンジ（挟持体）
8A	挟持スポンジ（挟持体）
8B	挟持スポンジ（挟持体）
8C	挟持スポンジ（挟持体）
8D	挟持スポンジ（挟持体）
9	挟持部
10	払拭布（払拭シート）
11	溝穴
12	筒部
13	ピン（ピン部材）
C	隙間

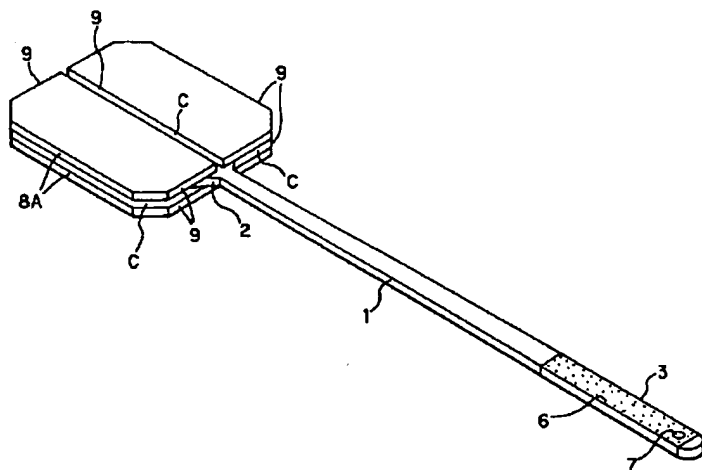
【図1】



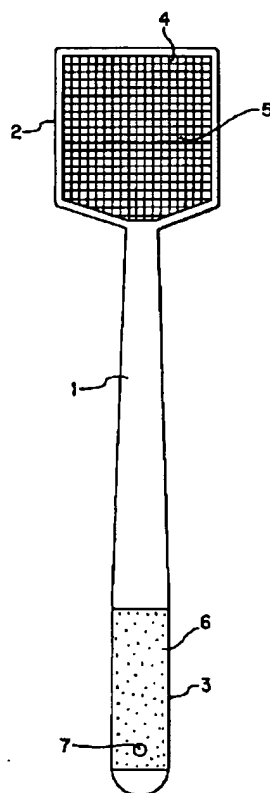
【図2】



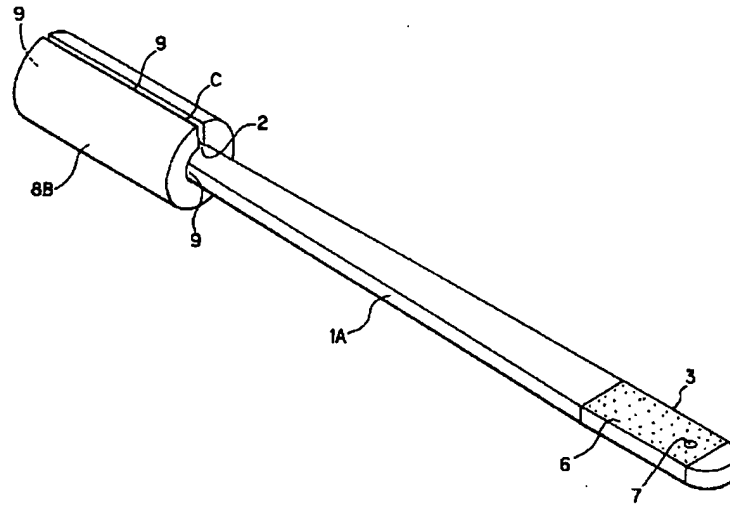
【図4】



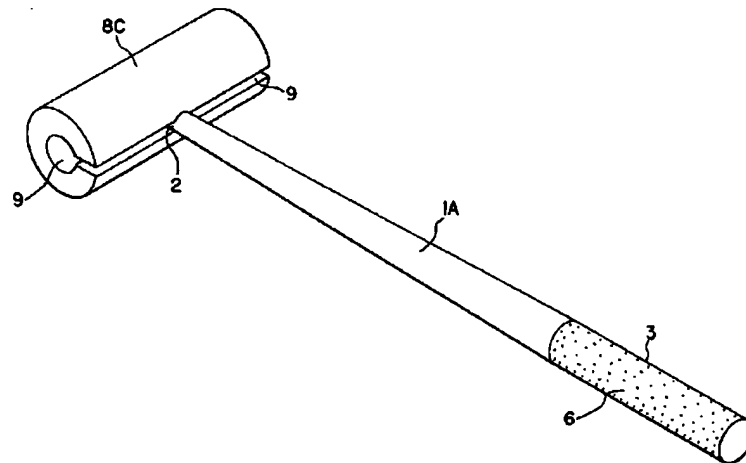
【図3】



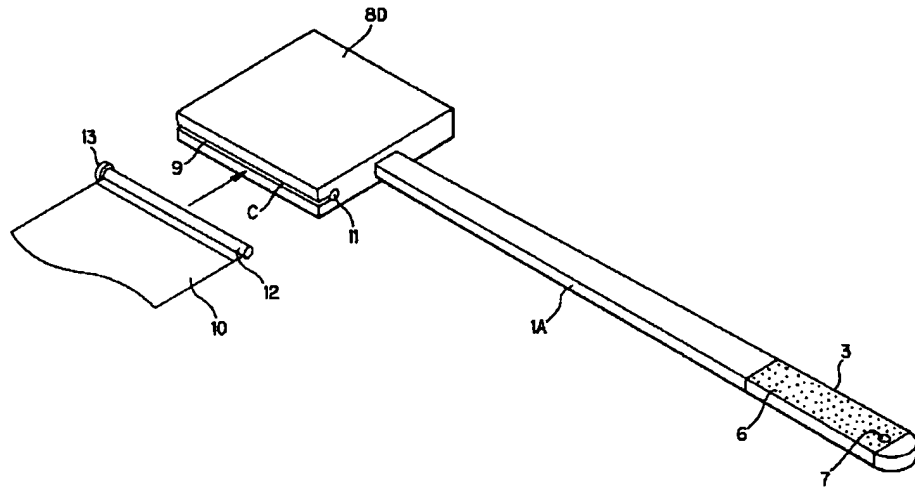
【図5】



【図6】



【図7】



PAT-NO: JP411137496A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11137496 A  
TITLE: CLEANING TOOL  
PUBN-DATE: May 25, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANOMURA, MARI	N/A
TERAJIMA, TOMOKO	N/A
ITSUKIDA, TOMOO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
LION CORP	N/A

APPL-NO: JP09306738

APPL-DATE: November 10, 1997

INT-CL (IPC): A47L013/20, A47L013/256

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cleaning tool in which simplicity in usage can be achieved, and in which a cleaning part is not limited to a specific surface.

SOLUTION: A cleaning tool is provided with a tip-tapered handle 1 which can be bent, a soft holding sponge 8 two-folded and installed on an installation part 2 of a tip part of the handle 1 through attaching thread, and a wiping cloth 10 to cover both surfaces of the holding sponge 8. Right and left side parts of the holding sponge 8 are respectively set as holding parts 9 provided with gaps C, and both side parts of the wiping cloth 10 are respectively wound



around the holding parts 9 to be held. By thus only setting both side parts of the wiping cloth 10 on the holding parts 9, the wiping cloth 1 can be set, so need of forming the wiping cloth 10 like a bag, or providing stopper parts for the wiping cloth 10 on the other side of a cleaning surface is eliminated. Wiping cloth other than the special wiping cloth 10 can thus be used, the surface and the back, a tip part and right and left side parts of the wiping cloth 10 can all be used, and simplisity in usage can be improved.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO